

東京諸島 11 島（注）を一つの歌が繋いだ物語

東京竹芝桟橋から、伊豆大島や八丈島など東京諸島へ定期船を運航している東海汽船は、2019年11月に会社創立130周年を迎えた。その年、老朽化した大型貨客船「2代目さるびあ丸」の代替となる「3代目さるびあ丸」を、2020年6月の就航に向け建造を行っていた。

この「3代目さるびあ丸」の外観は、東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムを作成した野老朝雄（ところ あさお）氏により、「本土と島、人と人、過去と未来を繋ぐ船」をコンセプトにデザインされている、東海汽船の新しいフラッグシップだ。

その建造中である2019年の年末のある寒い冬、たまたま出張で大阪に来ていた東海汽船のある社員が大阪駅の地下街を歩いていると、とても美しい歌声が聞こえてきた。その歌声の主を探しに地上へ出てみると、凍える手でキーボードを弾くひとりのシンガーソングライターがいた。

彼女は神戸在住のシンガーソングライター、藤井恵（ふじい めぐみ）。音楽療法士の資格を持つ彼女は仕事の傍らで自分の作った歌を披露していた。その心に沁み渡る歌声は、出張から戻った社員の頭からしばらく消えることがなかった。

2020年2月、引退の日が近づく「2代目さるびあ丸」と、建造が進む「3代目さるびあ丸」を見て、その社員が思いついた。

「そうだ、引退する船を送る歌と新しく船を迎えるのにふさわしい歌を藤井さんに作ってもらおう」

そう思った社員はすぐに神戸に向かった。彼女の答えはイエスだった。しかし、いざ依頼されても、船のことや島に生きる人々の想いはわからない。今度は彼女がすぐさま東京へ飛び、船や島のことを見て聞いて、2つの歌を作り始めた。

♪ISLANDS BLUE と ♪ことばの贈りもの の2曲である。

ところが、新型コロナウイルス感染症の拡大で全国に緊急事態宣言が発出された。レコーディングも思うように進まず、曲が完成したのは「3代目さるびあ丸」の就航直前だった。

そして2020年6月。本来であれば、引退する船の「さよならクルーズ」や、新造船の華々しいレセプションや試乗会で賑わう予定であったが、そのようなイベントはほぼ実施することはできなかった。

6月8日、「2代目さるびあ丸」は、28年間にわたり走り続けた最後の航路を、島民の方々に見送られながら後にしていた。

その一つに、美しい白砂とサーフィンで有名な「新島」があった。人口2,200人ほどの新島は、コーガ石と呼ばれる石が日本で唯一採取されることでも知られており、渋谷駅南口にある「モヤイ像」も新島から贈られたものである。

その新島を出航する際、彼女の作った「ことばの贈りもの」を船内から流していたところ、見送りに来ていた新島のフラチーム「ヌーキマ」のメンバーたちが踊っていた曲「Matsonia」の振りとテンポが、驚くほどピタリと合っていた。まるでこのために歌が作られたような、歌と踊りの出会いであった。

6月25日、新造船「3代目さるびあ丸」就航の初日、藤井恵はこの新しい船で新島へ降り立った。初めて訪れる東京諸島は新島と決めていたからである。

その新島で藤井恵は、地域コーディネーターとしての役割も担う新島村商工会の西胤輝之進（にしつぐ てるのしん）氏の紹介で、フラチーム「ヌーキマ」の植松朋江（うえまつ ともえ）氏と出会い、見送る船の歌とフラの融合を、映像で見て感激するのであった。

西胤氏を含めた3人は話し合った。「東京の島にはフラを踊る人たちが沢山いるのに、それぞれの曲を踊り、共通となる曲がない。」だから「この曲に振りを付けて、みんなが踊れるようになったら素敵だし、島を想ってくれる人たちも、きっと喜んでくれるよね！」そこで「コロナ禍だからこそ出来るやり方で、離れ離れにある、東京諸島11の島を、歌とフラで一つに繋げたい！」と考えた。そう、まさに歌い手、踊り手と新造船の思いが一つの方向に向かった瞬間だった。

その後『それぞれの島の美しい風景の中で踊り、みんなでひとつの曲を完成させよう!』と西胤、植松両氏が呼び掛けたところ、なんと11島すべての島から「ぜひやろう!」と声が上がった。これを機にフラチームの無かった神津島では新たにサークルも結成され、2021年3月、ようやく一つのMVとして完成したのがこの映像である。

コロナ禍で一同に集まることができない、南北約1,000キロに渡り点在する東京諸島11島が一つに繋がったこの動画を、ぜひともご覧ください。

（注）東京諸島11島とは、東京都に属する伊豆諸島、小笠原諸島の有人島11島で、大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・父島・母島を言う。

映像 URL : <https://youtu.be/lAwelRC4iYA>

歌：藤井恵 「ことばの贈りもの」

本件のお問い合わせ

新島村商工会 西胤（にしつぐ） TEL 04992-5-1167

東海汽船広報企画グループ 鈴木 TEL 03-3436-1148

